

ふれ愛だより

第27号

2005年7月

独立行政法人 水資源機構
小石原川ダム調査所
発行人 山本 力

ふれ愛メッセージ

東峰村長就任挨拶



こんにちは、東峰村長の高倉秀信です。

東峰村は、平成17年3月28日、旧宝珠山村、旧小石原村が合併して誕生しました。私は、合併前の宝珠山村長でしたが、本年4月25日から新村の初代村長として就任いたしましたところです。

旧小石原村では、350年の伝統を持つ「小石原焼」「高取焼」があり、年2回の民陶むら祭の開催、小石原焼伝統産業会館等での陶芸体験の実施、「ポーン太の森」キャンプ場、道の駅「小石原」、樹齢200～500年の「行者杉」等、また、

旧宝珠山村では棚田親水公園、岩屋キャンプ場、炭釜と修験者の歴史等を紹介する「いぶき館」、観光体験のための宿泊施設「ほうしゅ楽舎」、竹地区の棚田の景観、JRのめがね橋の風景等があり両村とも、自然を生かすと共に、村民と一体となって地域振興策として取り組んできました。

合併時の人口2,888人は平成の大合併の中では日本一小さな合併だろうと思われています。

新村は、「山里の“智”と“技”創造する新しいむら作り」を基本理念とし、自然、文化をいかした交流による活力と心豊かな暮らしの創出を目ざして取組を行っていくことが肝要であると考えています。

さて、小石原川ダムは ①利水 ②洪水調節 ③渇水対策 ④不特定用水確保の目的で建設されますがフルプランの全部変更が本年4月15日に閣議決定され、平成27年度完成を目指すことと相成りました。

このダムの水源地域として、その重要な役割を将来にわたって担い続けて行かねばなりません。

「森林は緑のダム」とも言われます。過疎、高齢化の村ではありますが、水源地域に住む住民が元気で活力があることは水源地域を守ることに繋がっていくと思われしますので、今後は水源地域整備事業計画の具体的に着手し地域振興を図っていくこととしています。

水源地域の実情をご理解いただき利水者の皆様をはじめ、関係各位のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

また、水没予定者の皆様には予備調査から25年、実施計画調査から11年が経過していますが国のフルプランの全部変更を受け、今後は急速に生活再建への取組が行われると思いますが、その心情は察するに余りあるものがあります。小石原川ダム建設は、すぐそこまで来ています。

行政としても水資源機構と連携をとり、不安の解消に向けて鋭意努力していくことを申しあげ、ご挨拶とします。

東峰村紹介



東峰村は、福岡県の中東部に位置し、人口は2,758名（平成17年6月1日現在）・面積約52km²に陶芸と自然豊かな地に平成17年3月28日、旧宝珠山村・小石原村との合併により新しく誕生しました。平成の合併の中ではおそらく日本一小さな村ではと新聞にも掲載されました。

今回は、東峰村誕生を記念して村の紹介します。

旧小石原村は小石原川の源流で陶芸が盛んな場所です。5月と10月には民陶むら祭が開催され多くの陶芸愛好の方々が50数軒に及ぶ窯元や小石原焼伝統産業会館を訪れます。

また、修験道が盛んであった昔、山伏が英彦山へ峰入するための重要な修行の場所で筑前と豊前の国境でもありました。



民陶まつり



小石原焼



竹の棚田

旧宝珠山村には、この地に伝えられた文化の歴史を時代のいぶきに触れ新しい文化を創造する空間として利用されている「いぶき館」、また、当地は四方を山に囲まれ自然豊かに恵まれ棚田の親水公園やほうしゅ楽舎・岩屋キャンプ場など野外活動の場所が随所にあります。この夏自然と協調している東峰村を訪れ自然に触れてください。



いぶき館



棚田の親水公園

ふれ愛 トピックス 「筑後川水系における水資源開発基本計画」 の全部変更について

平成17年4月に「筑後川における水資源開発基本計画」の全部変更が閣議決定されました。今回の変更は、筑後川水系に各種の用水を依存する福岡県、佐賀県、熊本県、大分県の各地域における平成27年度を目途とした水の需要見直し、供給目標を見直したものです。変更後の計画の概要は以下のとおりです。

- (1)目標年度：平成27年度
- (2)対象地域：筑後川水系に各用水を依存している福岡県、佐賀県、熊本県、大分県の諸地域
- (3)需要の見直し：
 - ①都市用水（水道用水+工業用水）約17m³/s⇒約10m³/sに変更
 - ②農業用水（筑後川土地改良事業）約0.6m³/s⇒約0.1m³/sに変更
- (4)施設整備：小石原川ダム事業（継続）、大山ダム建設事業（継続）、福岡導水事業（継続）、佐賀導水事業（継続）、筑後川下流土地改良事業（継続）、両筑平野用水二期事業（改築事業） 計6事業

また今回の変更の特徴は以下の2点です。

- (1)近年の実情等に合わせ、次期計画の対象地域における都市用水の需要の見直しを下方修正
- (2)安定的な水の利用を可能にするための対応
 - ①近年の降雨状況による流況の変化を踏まえ、安定的に水を供給することを目標に設定
 - ②ハードとソフトの両面からの施策の実施
 - 安定的な水の利用を可能とするため、前述の供給施設の整備を行なうほか、節水や再利用等による水利用の合理化を図る。

ふれ愛 プロジェクト 平成17年度の調査について

平成17年度においては下記の調査を実施してまいります。
今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

調査項目
用地調査
流量・水質調査
環境調査
総合気象観測
地質調査



地質調査状況



用地調査状況

ふれ愛 インフォメーション

【職員の異動】



坂田 渡邊 倉地 堤

平成17年4月1日付けで下記の職員が転入しました。

所 付	堤 敏彦	前任地
総務課長	倉地 潔	(房総導水路)
用地課長	渡邊 信弘	(荒川ダム)
用地課	坂田 仁	(本社 用地部)
		(本社 経営企画部)

平成17年4月1日付けで下記の職員が転出しました。

総務課長	用地課長	調査設計課	転出先
草場 保文	梅林 聡徳	出水 益夫	(木曾川用水)
			(本社 総合技術推進室)
			(吉野川局)

平成17年3月31日付けで下記の職員が退職しました。

用地課 森 宏美

最近の動き



- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 4月16日 小石原川ダム水没者対策協議会総会 | 6月15日 東峰村ダム対策協議会 |
| 5月9日 事業説明会(福岡県) | 6月29日 鳥屋山キャンプ場山開き |
| 5月10日 佐田川取水対策委員会総会 | 6月28日 小石原川総合開発連絡協議会 |
| 5月10日 小石原川ダム水没者対策協議会全体会 | 6月28日 甘木市官公庁連絡協議会 |
| 5月18日 甘木市官公庁連絡協議会 | 7月1日 生活再建相談所開設 |
| 6月11日 第13回高木ホテル祭り | 7月4日 甘木市ダム対策委員会 |

編集後記

8月1日は「水の日」です。また、この日を初日とする1週間は「水の週間」として全国でさまざまなイベントが開催されます。

当事務所においても、8月7日(日)に江川ダムと寺内ダムとの合同で「あまぎ3ダム見学会」を開催します。

普段、なかなか見ることのできないダムの中(監査廊)を見学したり、環境についての学習会を開催したりします。この機会にぜひともご参加下さい。

【参加申し込みは当事務所 総務課まで ☎0946-22-7000】

アクセス



公共交通機関
電車：西鉄甘木線
甘木駅より徒歩1分
甘木鉄道
甘木駅より徒歩2分

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構 小石原川ダム調査所

〒838-0068 福岡県甘木市大字甘木1187

☎0946 (22) 7000 ☎0946 (22) 7055

http://www.water.go.jp/chikugo/koishi

